

第60回「電波の日」東北総合通信局長表彰

被表彰者	主な功績
羽後西部地区テレビ共同受信組合 (組合長 佐藤 藤男)	共同受信設備の地上デジタル放送対応にあたり複数の難視対策中継局であるギャップフィルアを効率的に運用するシステムを構築し加入世帯のテレビ受信環境の向上を図るなど地域における地上デジタル放送の普及促進に多大な貢献をされました。
社団法人東北自動車無線協会 (会長 工藤 憲三)	創立以来五十年にわたりタクシー無線の先進的技術の導入に積極的に対応され電波の効率的な利用と健全な発達に多大な貢献をされました。

平成22年度「情報通信月間」東北総合通信局長表彰

被表彰者	主な功績
平中 幸雄 山形大学大学院 理工学研究科教授	「条件不利地域におけるブロードバンド化促進のための調査研究会」の座長として山形県大江町をフィールドにブロードバンド環境整備に向けた計画づくりに取り組むなど地域における情報通信の普及発展に多大な貢献をされました。
八島 彰夫 元 社団法人日本CATV技術協会 東北支部事務局長	永年にわたり社団法人日本CATV技術協会東北支部事務局長として共同受信施設の地上デジタル放送対応の推進に積極的に取り組むなど東北地域における地上デジタル放送の普及促進に努めてこられました。
被表彰団体	主な功績
宮古市 (市長 山本 正徳)	川井地域において情報通信基盤整備基本計画を策定し行政防災情報提供システム・ブロードバンド基盤・地上デジタル放送を一体的に整備されるなど地域における情報通信の活用に多大な貢献をされました。
由利本荘市 (市長 長谷部 誠)	地域間の情報格差の解消を図るためケーブルテレビを情報基盤と位置付けエリア拡大に積極的に取り組み市内全域への整備を果たすなど地域における情報通信の活用に多大な貢献をされました。
山形県置賜総合支庁 (支庁長 安達 正司)	自らサーバ等を所有しないクラウド型の行政システム構築の有効性に着目し置賜地域七市町に対し共同導入を助言するとともに、山形県基幹高速通信ネットワークの解放を行うなど、その実現に大きく寄与し、地域の情報通信の発展に多大な貢献をされました。
長井市 (市長 内容 重治)	自らサーバ等を所有しないクラウド型の行政システム構築の有効性に理解を示し効率的なシステムを先行導入するなど情報通信の活用に多大な貢献をされました。
川西町 (町長 原田 俊二)	自らサーバ等を所有しないクラウド型の行政システム構築の有効性に理解を示し効率的なシステムを先行導入するなど情報通信の活用に多大な貢献をされました。